

ひしもいた 議会だより



下仁田町議会
ホームページ
QRコード

主な内容

一般会計当初予算	2
6月定例会の概要	2
予算決算特別委員会	3
一般質問	4～6
審議結果	7
行事報告	8
編集室	9
議会報告会	10

発行：群馬県下仁田町議会

令和8年度 6月定例会 一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出 4,848万8千円増額し、総額55億9,448万8千円

■歳入

(単位：千円)
※千円未満切り捨て

事業名等	主な内容	補正額
財政調整基金繰入金	財政調整基金繰入	39,990
一般コミュニティ助成事業助成金	一般財団法人自治総合センター	2,499
魅力あるコミュニティ助成事業助成金	公益財団法人群馬県市町村振興協会	1,999
町債	脱炭素化推進事業債	4,000

■歳出

(単位：千円)
※千円未満切り捨て

事業名等	主な内容	補正額
議会運営費	車両購入費増額分	420
まちづくり推進費	コミュニティ助成事業（下町区、仲町区）	4,498
庁用車集中管理費	車両購入費	4,510
庁舎等管理費	マイクシステム設置・南庁舎敷地内石積補強	7,260
特別養護老人ホーム補助事業	社会福祉法人「かぶらの里」施設運営補助金	31,800

5月第2回臨時会の概要

▼20日 議案の上程採決

- ・専決の承認を求めることについて（下仁田町税条例の一部を改正する条例）他全3議案を承認
- ・財産の取得（消防ポンプ自動車）1議案を上程可決

6月定例会の概要

▼11日 開会日

- ・会期を19日までとする決定

・一般質問 3名

▼12日 議案の上程・採決

- ・令和7年度下仁田町繰越明許費計算書の報告他全2件の報告
- ・下仁田町農業委員会委員の任命他全2議案を同意
- ・小坂防災研修施設の設置及び監理に関する条例
- ・下仁田町税条例の一部を改正する条例他全4議案を上程可決

- ・令和8年度一般会計補正予算（第1号）を予算決算特別委員会に付託

- ・陳情1件を総務常任委員会に付託

▼15日 予算決算特別委員会

- 付託された案件の審査

▼17日 総務常任委員会

- 付託された案件の審査

▼19日 最終日・採決

- ・各委員長報告
- ・令和8年度一般会計補正予算（第1号）を可決
- ・陳情1件を採択
- ・義務教育費国庫負担制度拡充し教職員定数の改善を求める意見書を上程可決
- ・令和8年度下仁田町役場庁舎2・3階空調設備更新工事請負契約1議案を上程可決

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和8年度一般会計 補正予算（第1号）

問 南庁舎敷地内石積補強工事の場所は。

答 南庁舎の西側、佐藤鉄工様駐車場との間の石積になります。

問 その石積は隣の民地まで伸びている、南庁舎の部分が危険ということであれば、そちらも同じように危険だと思うのだが、一緒に施工するということなのか。

答 現状は南庁舎内のみの補修を考えています。工事を進めていく上で、近隣も危険ということが分かれるかと思っています。

問 工事が完成したらその場所は駐車場として使うのか。

答 安全の確認ができましたら、駐車場スペースとして考えております。

問 まちづくり推進費について説明を。

答 「一般コミュニティ助成事業」は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニケーション組織の活動に直接必要な設備の整備に対し、250万円を上限に助成する事業です。実施主体は下町区で、事業内容は山車整備事業と地域交流促進に伴う備品の整備です。事業費は256万5千円で、補助金額は250万円です。

「魅力あるコミュニティ助成事業」は、公益財団法人群馬県市町村振興協会がサマージャンボ宝くじの交付金を財源に自治会などの地域住民で組織する団体の活動に直接必要な設備・施設の整備に対して、200万円を上限に助成する事業です。実施主体は仲町区で、事業内容は祭衣装の購入です。事業費は205万2千円で、補助金額は200万円です。

問 下仁田地区以外からも申請などは出ているか。

答 「魅力あるコミュニティ助成事業」については、下小坂区

からも相談はありましたが申請には至りませんでした。昨年度は中小坂区からの申請がありました。

問 脱炭素化推進事業債について説明を。

答 脱炭素化推進事業債のメニューに電動車の購入があり、これまで、EV車や水素車等の購入に限られていましたが、今年度からハイブリット車も起債の対象になりました。庁用車の購入についてハイブリット車を予定していますので、計上額の9割、合計400万円を起債借入額の限度額の補正とさせていただきます。

問 かぶらの里の補助事業3,180万円の内訳について説明を。

答 平成20年度に※ユニット型を20床増やした工事費1億1,800万円の返済残

金2,000万円と、平成27年度に空調をGHPにした工事費7,500万円の返済残金1,180万円を合わせたものになります。

問 財源は歳入で財政調整基金が取り崩されているがそれを充てるのか。

答 当該補助金に対する財源がございませんので、財政調整基金を取り崩して補助金に充てております。

問 かぶらの里のことなので、必要とあれば財政調整基金を取り崩して援助してもらいたいと思うが、その後の経営も指導していただきたい。

答 経営改善の取組については、今後も継続的に、あらゆる機会を通じて協議してまいります。

※ユニット型

10人以下の少人数を1つのグループ（ユニット）とし、共有のリビング（共同生活室）を囲むように配置された個室のこと。



役場南庁舎

問 水不足への給水体制強化は

答 持続可能な体制を検討する



並木一夫 議員

議員 現在、水不足の状況とその対応は。

町長 記録的な少雨により、水源地の河川流量が減少している状況であり、町民の皆様は節水を呼びかけ、ご理解とご協力をお願いしています。

議員 町民のライフラインを守る観点から、緊急時や災害時に給水活動ができる「給水車」の導入、あるいは、他自治体との広域連携による協力体制はできているか。

町長 「給水車」は高額

一般質問



並木一夫 議員

で、維持管理費も掛かります。また、平常時は稼働率も低く、財政的にも厳しいものがあり、導入には検討が必要だと考えます。

建設水道課長 広域連

携による協力体制は、群馬県及び西毛地域において「災害時相互応援に関する協定」を締結しており、災害時における応援体制は構築されています。

議員 給水対策は、町民の命を守る公衆衛生・防災上の必須事項と考えるが。

町長 町の防災課題として、全庁的な取り組みとして考えます。

問 高齢者の移動手段確保と新交通の導入を

答 デマンド型導入など持続可能な交通を構築する

議員 高齢者の免許返

納などにより、生活を支える移動手段の確保に不安を感じているが、この状況をどのようにとらえているか。

町長 高齢者を始め、

交通弱者の方々の移動手段の確保は、町における優先課題として認識しています。

議員 実態調査は行っているか。

企画課長 全世帯を対

象としたアンケート調査を実施し、利用者ニーズや交通空白地の現状を分析しています。

議員 現在の路線バス

の運行方法や※デマンド型交通の導入など、町民の暮らしを守る「新しい交通のあり方」について検討しているか。

企画課長 「新しい交通

問 総合窓口の設置は

答 サービスの向上

議員 「書かない窓口」と

は、現在、実施しているか。

住民税務課長 「書かない

窓口」とは、住民が役場窓口において、紙

のあり方」について

は、町の重要施策として実現に向けた協議・検討をすでに進めています。現在検討が進んでいる交通形態は、従来のスクールバス事業は継続し、

昼間の時間帯を柔軟なデマンド運行へと切り替える「複合的な運行形態」に移行できるか検討しています。今後は、利用者の視点を大切にしながら、利便性の高い持続可能な交通サービスの実現に向け取り組みます。

議員 総合窓口のよう

な、人を配置した案内は考えているか。

町長 現在、窓口では、

職員が動く対応をしています。窓口に来られた方々に対して、どのような良質なサービスを提供できるのか模索していきます。

議員 総合窓口のよう

な、人を配置した案内は考えているか。

問

データセンターの
企業誘致は

答

可能性を探り続ける

議員 企業誘致の現状

をどのように捉えているのか。

商工観光課長 企業誘

致は雇用の創出と若者流出防止につながる重要な施策であり、重要性を十分認識しています。

課題は多いが、遊休施設や耕作放棄地の活用など、企業誘致の可能性について様々な検討が必要であると考えています。
議員 どのような企業誘致を進めていくのか。

商工観光課長 首都圏

へのアクセスと災害の少ない立地を強みに、情報通信・テレワーク対応企業やデータ関連施設や倉庫業の誘致が考えられます。

議員 群馬県がデータ

センター誘致に積極的に取り組んでいるが、下仁田町に誘致はできないか。

企画課長 平地の確保や電力供給の問題な

一般質問



堀越健介 議員

問

空き家除却に新しい支援制度を

答

検討する

議員 現状のままでは

空き家が年々特定空き家や倒壊のおそれがある空き家へ移行していく。現行の「老朽空き家除却補助金交付制度」では自主的な除却を促すには支援が不足しているのではないか。特定空き家判定基準の引き下げ、相続登記支援、固定資産税の減免の導入は可能か。また、近隣自治体のように特定空き家になる前段階での除却を促す、空き家ランク別の段階的支援の制度設計を町でも検討はできないか。

保健課長 年々増加す

る空き家への対応は町の重要課題です。特定空き家の判定基準は法と国との指針に基づくため、町独自の引き下げは難しい面があります。一方、老朽空き家除却補助金の判定基準につきましても、町独自の制度でありますので、要綱の改正により対象の範囲の見直しは可能ですが、判定基準を拡大した場合には国庫補助金を活用しない町単独事業となります。相続登記支援や固定資産税減免は庁内協議が必要で今後の検討課

ど課題はあるが、県や関係機関と連携して調査・環境整備を進めながら、誘致の可能性を探り続けま

す。



題です。他の自治体の事例や財源確保も踏まえて総合的に検討してまいります。

問

小中一貫校の特色ある教育の展望は

答

一貫した英語・地域教育で学びを深める



大手博幸 議員

議員 「しもにた学園」

が誕生し1年が経過したが、現在どのような特色ある教育活動に取り組んでいるか。

教育課長 学園訓「自主自律・共生」のもと、9年間を見通した独自の教育を行っています。英語教育は、「英語科」として、「話す・聞く・読む・書く」の4つの力を高めることを重視しています。小学校5年生の「※イングリッシュキャンプ」や英検支援等の取り

組みで、英語の楽しさを実感させ、中学の海外派遣へ繋がる一貫した学習環境を整えています。また、『地域総合科』では下仁田町の学びを起点とした探究活動を通じ、郷土への誇りと主体性を育んでいます。「これら9年間を通じた連続性のある教育体制により、児童生徒の学びと成長を強力にサポートしてまいります。」

一般質問



大手博幸 議員



イングリッシュキャンプの様子

問

教員の負担軽減と体制確保はどうか

答

環境改善と人的支援で教育の質を守る

議員

併設型小中一貫校移行による、教職員の働き方に対する影響は。

議員 長時間勤務の状況は。

教育課長

教職員の働き方改革は、教育の質の維持・向上に直結する重要課題と認識しています。教育委員会では、国の方針に則った指針を策定し、教職

教育課長

教職員が時間外に在籍している割合は、調査によると年々減少傾向にあります。これは、業務の優先順位の見直しやICT機器の活用など

員の業務量及び健康管理に努めています。議員 長時間勤務の状況は。

議員 教職員の増員は。教育課長 県に要望し小学校に2名、中学校に1名を、特別に配置していただいております。また、町の予算で支援員を配置して、子どもたちへのきめ細かなサポート体制を整え、環境改善と人的支援の両面から教職員が教育活動に専念できる環境づくりに取り組んでいます。

問

ICTと基礎学力の両立の考えは

答

デジタル活用と読書の両立により学びの質を育みます

議員

ICT教育が進む一方で、「視力低下」や「書く力」「読解力」の衰えが懸念されるが、子どもたちの健康や基礎学力の維持・向上にむけた指導・啓発は。

議員 ICT教育が進む一方で、「視力低下」や「書く力」「読解力」の衰えが懸念されるが、子どもたちの健康や基礎学力の維持・向上にむけた指導・啓発は。

議員 基礎学力の育成も進めております。また、健康面では適切な姿勢や休憩を徹底し、家庭で

身の健やかな成長が何より重要です。思考を深めるため「ノートに書くこと」「じっくり読むこと」を大切にし、読解力の育成も進めております。また、健康面では適切な姿勢や休憩を徹底し、家庭で

教育課長 デジタルは優れた道具ですが、心

休を徹底し、家庭で

休を徹底し、家庭で

休を徹底し、家庭で

学校現場の改善の成果と捉えています。

議員 教職員の増員は。教育課長 県に要望し小学校に2名、中学校に1名を、特別に配置していただいております。また、町の予算で支援員を配置して、子どもたちへのきめ細かなサポート体制を整え、環境改善と人的支援の両面から教職員が教育活動に専念できる環境づくりに取り組んでいます。

の長時間利用を防ぐシステム制限も導入しております。加えて、デジタル化の今こそ「読書」が重要と考え、教育行政方針の重点施策として、読書活動を推進しております。今後も「デジタルの活用」と「読書による深い学び」を両立させ、確かな学力と健やかな心身の育成に努めてまいります。

審議結果

第2回臨時会（5月20日開催）

○は賛成、×は反対、－は欠席を表しています。
（岡田邦敏議長を除く9人で採決を行います。）

議案番号	議案名称	議員名	堀越健介	並木一夫	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	木暮弘元	佐藤博	千野榮治	堀口博志	審議結果
27	専決処分の承認を求めることについて（下仁田町税条例の一部を改正する条例）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
28	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度下仁田町一般会計補正予算（第7号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
29	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第4号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
30	財産の取得について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

6月定例会（6月11日～19日開催）

○は賛成、×は反対、－は欠席を表しています。
（岡田邦敏議長を除く9人で採決を行います。）

議案番号	議案名称	議員名	堀越健介	並木一夫	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	木暮弘元	佐藤博	千野榮治	堀口博志	審議結果
31	下仁田町農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者とすることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
32	下仁田町農業委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
33	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	小坂防災研修施設の設置及び管理に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	下仁田町税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	下仁田町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	令和8年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	義務教育費国庫負担制度を拡充し、教職員定数の改善を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	令和8年度下仁田町役場庁舎2・3階空調設備更新工事請負契約について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審査結果

受付番号	件名	申請者	審査結果
2	義務教育費国庫負担制度を拡充し、教職員定数の改善を求める意見書採択の陳情書	群馬県教職員組合西毛総支部 甘楽支部支部長 永井 浩	採択

議員参加行事

甘楽・多野地域町村議会
議員鳥獣被害対策協議
会総会

▼役場201会議室

5月12日(火)

(議長・有害鳥獣対策特
別正副委員長)

甘楽郡町村議会議長会
定期総会

▼南牧村役場

5月12日(火)

(議長)

神津牧場花まつり

▼神津牧場

5月17日(日)

(全議員)

鹿児島県曾於市議会
視察対応

▼下仁田小学校・中学校

5月21日(木)

(総務常任委員)

全国町村議会
議長副議長研修会

▼東京国際フォーラム

5月26日(火)

(議長)

第46回富岡甘楽地方議
会議員連絡協議会定期
総会・議員研修会

▼ら・ら・かんら

5月28日(木)

(全議員)



富岡甘楽地方議会議員連絡協議会

富山県入善町議会
視察対応

▼役場302委員会室

6月23日(火)

(総務常任委員)

下仁田町森林組合
研修会

▼西野牧地区・栗山地区内

6月26日(金)

(社会経済常任委員)

新議員研修会

▼市町村会館

6月29日(月)

社会経済常任委員会
要望箇所現地視察

▼馬山大東区内

7月10日(金)

(社会経済常任委員)



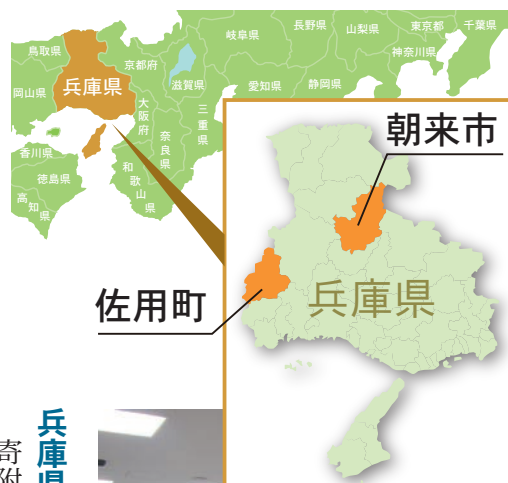
要望箇所現地視察

富岡甘楽
広域圏議会臨時会

令和8年6月24日

- ・令和7年度一般会予算
繰越明許費繰越計算書
の報告
- ・財産の取得(災害対応
特殊救急自動車)他全
2議案の上程可決
- ・組合教育委員会委員の
任命

社会経済常任委員会 行政視察研修



兵庫県：佐用町

令和8年7月1日～3日
兵庫県：朝来市

衛星画像およびAIを活用した漏水調査の取り組みを視察しました。

過去の漏水実績や管路情報などのデータをAIで分析し、漏水の可能性が高い箇所を効率的に抽出することで、調査の精度向上や業務の効率化を実現していました。

人口減少や施設の老朽化が進む中、持続可能な水道事業を支える先進的な取り組みとして、多くの学びを得ることができました。



寄附の受入や私有林を買収、町有林化する事業を視察しました。

管理が困難となった私有林の寄付や買取をし、町有林として一元的に整備・管理することで、森林保全や災害防止を図り、持続可能な森林管理を推進していました。

森林所有者だけに管理を委ねるのではなく、行政が主体的に関与する姿勢が印象的でした。地域の実情に応じた先進的な取り組みであり、当町における森林管理の在り方を考える上でも大変参考になりました。

白石工業株式会社 はくえんか 白艶華工場

青倉地区にある「白石工業株式会社 白艶華工場」は、ゴムやプラスチック、塗料、紙など幅広い産業を支える「炭酸カルシウム」の重要拠点です。長年培った独自の粉体技術で、高品質な「白艶華」ブランドの製品を全国へ供給し、日本のモノづくりを陰ながら支えています。また、夜になると工場施設がライトアップされ、幻想的な風景を浮かび上がらせます。その美しさは地域でも評判で、昼間の力強い生産現場の顔とは一味違う、夜の静寂に包まれた姿も非常に魅力的です。下仁田の自然と産業の調和を感じさせる、誇り高い生産拠点です。



こんにやく夏祭り 出店します！



第55回下仁田こんにやく夏祭りが開催されます。

●期日 8月14日(金)

●場所 こんにやく体験道場(広場)

●時間 午後3時～

(来場及び飲食物の購入は午後1時からできます。)

※花火打上(予定) 午後8時～8時20分



町議会も、スーパーボールすくい、
落書きせんべいを出店します。
皆さん遊びに来てくださいね。



編集室から

昨今の詐欺電話や災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に備え、正しい情報を確実に受け取れるよう準備しておくことが大切です。

下仁田町では防災無線機器の更新期にあわせて今年度新しい機器への切り替えを進めるとともに、タブレットやスマートフォンを活用した情報発信にも取り組む方針を示しています。

「携帯は電話だけで十分」「スマホは苦手」という方も、町のスマホ教室などを利用しながら少しずつ慣れてみませんか。

普段から使い方に慣れておくことで、緊急時にも落ち着いて必要な情報を受け取ることができ、安心につながります。自分や家族の安全を守るため、今からできる備えを始めていきましょう。

佐々木信也



訂正とお詫び

議会だより第113号(令和8年5月1日発行)の内容に誤りがありました。

7ページ小井土議員の一般質問タクシー利用券について、「令和7年度の1人あたりの配布枚数は」の間に「最大75枚」と答弁がされていますが、正しくは「令和6年度の1人あたりの配布枚数」について質問し、「最大65枚」と答弁がされました。訂正してお詫び申し上げます。

議会報告会

令和8年

9月27日(日)午後2時～

会場：下仁田町文化ホール

町のこと話そう！
議員と話そう！
みんなと話そう！

事前の申込不要

どなたでも参加できます！
お誘いあわせてご参加ください！

主催：下仁田町議会

問合せ先：下仁田町議会事務局

0274-64-8810

次の定例会は9月です

議会本会議及び予算決算特別委員会の
傍聴ができます。

日程などのお問い合わせは

☎0274-64-8810

議会だより、会議録の他、下仁田町
議会の情報は下仁田町ホームページ
よりお進み下さい。



<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

広報発行特別委員会

委員長 並木 一夫
副委員長 堀越 健介
委員 小井土 光弘
堀口 博志

佐々木 信也
佐藤 博
堀口 博志